

(様式第 16 号)

Mini-CEX リハ専門職版

受講者の経験年数： 年 目 職種： 実施日： 年 月 日

患者/利用者： 歳代 観察時間： 分

項目	チェックポイント	点数
1.患者理解	* 患者サマリーを参考に患者の理解度を評価する ☐ 患者の病態を把握している（現病歴、既往歴、入院前 ADL、経過、本人や家族の希望など） ☐ 患者背景を把握している（社会的背景、生活状況、家族状況、家屋環境、嗜好など）	6・5・4・3・2・1 評価不能
2.評価	* 患者サマリーを参考に各種評価の実施状況を確認する ☐ 病態、障害に応じた評価がなされている ☐ 動作の観察・分析ができている	6・5・4・3・2・1 評価不能
3.コミュニケーション能力	☐ 患者の訴えを引き出し、適切な言葉づかいで接している ☐ 患者の視線や表情などの非言語コミュニケーションも留意している ☐ 患者の理解度に合わせてわかりやすい言葉で説明している	6・5・4・3・2・1 評価不能
4.臨床判断	☐ 病態に即した治療プログラムを立案している ☐ 根拠に基づく医療・治療に準じた優先度の高い治療法を選択している ☐ 患者 HOPE を考慮した治療選択がなされている	6・5・4・3・2・1 評価不能
5.臨床姿勢	☐ 患者診療に適した身だしなみを心掛けている ☐ 患者に対して敬意・思いやり・共感を示し、信頼関係を形成している ☐ 患者の体調・不快感・遠慮・個人情報に注意を払っている	6・5・4・3・2・1 評価不能
6.マネジメント（治療技術）	☐ 治療法についてアセスメントとプランを患者が納得いくよう説明している ☐ 必要な治療をスムーズに実施できている ☐ 患者に対して安全な立ち位置、適切な介助を行いリスク管理が行えている ☐ 患者が何を注意すべきか、どのような行動をとったら良いか、十分に説明している（患者指導が行えている）	6・5・4・3・2・1 評価不能
7.総合	* ゴール設定、今後の方向性は患者サマリーを参照 ☐ 無駄が少なく迅速である。プログラムの時間配分が適切である ☐ 評価者がいなくてもこの患者を一人で診療できる	6・5・4・3・2・1 評価不能

経験年数として望まれる能力を満たす場合に 4 を、それ以上の場合に 5（経験年数に比して優秀）、6（それ以上の場合）を、ボーダーラインで 3 を、能力が明らかに劣る場合に 2、1 を付ける。「評価不能」は、観察していないコメントできない時に付ける。

※2、4、6、7 や診療中評価が不能だった項目については、患者診療の後、受講者の考えを述べてもらうことで評価しても構わない。

良かった点

改善すべき点

指導者/受講者で合意した学習課題

指導者サイン： _____ 受講者サイン： _____